

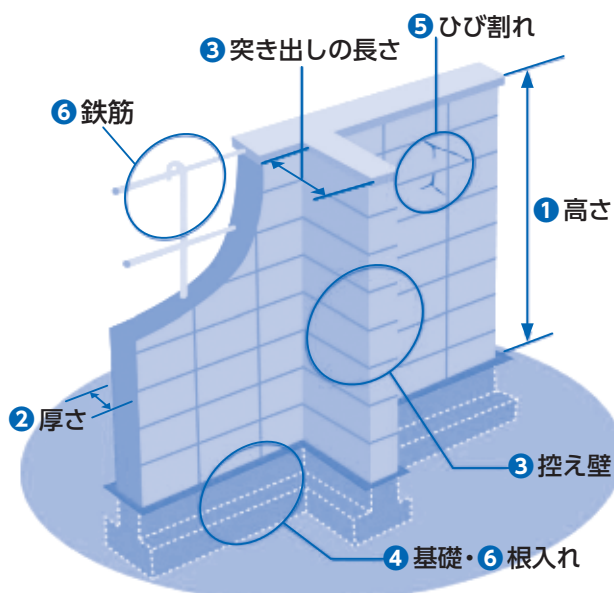
地震への備えはできていますか

9月1日は「防災の日」（関東大震災が起きた日）です。

平成30年6月に大阪府北部地震が発生し、ブロック塀等の倒壊や家具の転倒により痛ましい事故が発生しました。地震はいつ発生するかわかりませんが、事前の備えによって被害を減らすことができます。

事前の備え	対策方法
家具転倒の防止対策	家具を天井突っ張り棒や壁にねじで固定しましょう。
ガラスの飛散防止対策	ガラスが割れて負傷ないようにガラスに飛散防止フィルムを貼りましょう。
屋外看板の点検	看板が落下しないように定期的な点検を行い、劣化した部品は交換しましょう。
住宅や塀の耐震化	耐震診断で倒壊するおそれがあると判断された住宅や塀の耐震改修を行いましょう（市では、昭和56年以前に建築された住宅の耐震化費用及び耐震シェルター設置費用の補助を行っています。）。

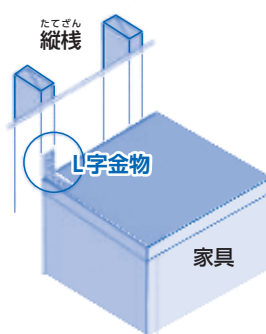
▶ ブロック塀の点検のチェックポイント



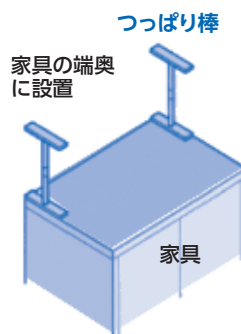
出典 国土交通省「ブロック塀の点検のチェックポイント」一部改

- ① 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から2.2m 以下か。
 - ② 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは10cm 以上か。
 - （塀の高さが2m 超2.2m 以下の場合は15cm 以上）
 - ③ 塀の高さが1.2m 超の場合、控え壁はあるか
 - ・塀の長さ3.4m 以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
 - ④ 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
 - ⑤ 塀は健全か
 - ・塀に傾きやひび割れはないか。
- <専門家に相談しましょう>
- ⑥ 塀に鉄筋が入っているか
 - ・塀の中に直径9mm 以上の鉄筋が、縦横とも80cm 間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部及び基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 - ・塀の高さが1.2m 超の場合、基礎の根入れ深さは30cm 以上か。

▶ 家具転倒の防止策例

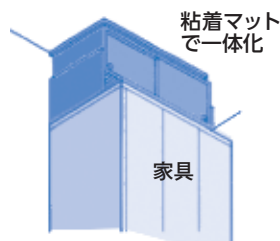


「L字金物」は、壁裏の縦筋に木ねじで取り付けてください。



「つっぱり棒」は、手軽にできる転倒対策ですが、天井の補強等が必要です。

すきま家具またはダンボール箱 天井



「すきま家具」や「ダンボール箱等」で家具と天井の間隙を埋めることも、転倒対策になります。

～家具転倒の防止未実施例～



詳しくは、消防庁ホームページ「消防庁地震家具転倒」をご覧ください。

(<https://www.fdma.go.jp/publication/database/kagu/post1.html>)

問合せ

建築課建築担当
安心安全課防災担当

内線234
内線372・373